

## 近畿大学次世代基盤技術研究所報告 Vol.5 (2014) の発行にあたって

近畿大学次世代基盤技術研究所  
所長 角田 勝



近畿大学次世代基盤技術研究所（広島キャンパス内）は平成 22 年度設立され、平成 21 年度文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業に採択されたプロジェクト（地域連携による自動車技術に関する研究）を推進する「自動車技術研究センター」、近畿大学工学部産学官連携推進協力会をはじめとした社会・地域連携の窓口としての「社会連携センター」を核として、順調に発展してまいりました。この間、社会の要請に応じて「建築環境研究センター」、「先端化学生命工学研究センター」、「サービス工学研究センター」、さらには昨年度「先端ロボット工学研究センター」を立ち上げ、持続可能な社会の構築に向けて医療福祉や生活支援の分野への展開も目指した活動を行っています。お陰をもちまして、上記の 6 つの研究センターを含む次世代基盤技術研究所および工学部・大学院システム工学研究科の広範な様々な活動が実り、次世代基盤技術研究所は広島地域での産学金官連携の研究拠点としての位置づけが高まっています。

さて、当地域の瀬戸内圏はもともと、ものづくりの盛んな地域として知られています。このような中、経済産業省では「三次元造形技術を核としたものづくり革命プログラム」など、将来の日本の“ものづくり”を革新する技術を強く求めています。本研究所でも、「革命プログラム」に関わる研究活動を進めるべく、平成 26 年 4 月には「3D 造形技術研究センター」を設置して、超大型プロジェクト「金属粉末 3D プリンタ開発プロジェクト」の推進および人材育成にも貢献したいと考えています。新研究センターの活動につきましても、ご支援とご協力をお願い致します。

さて、本報告書は平成 25 年度の 6 つの研究センターにおける活動報告のほか、産官学連携による研究成果、研究所員の学術雑誌論文も再録して、研究所全体の活動状況をまとめたものです。本報告書が、広く地域産業界に携われる方々に最新技術情報を提供するとともに、研究開発の一助となれば幸いに存じます。

平成 26 年 6 月